



TUFS Cinema
Tokyo University of Foreign Studies

バスク映画特集 (3)
リズム・インプロヴィゼーション・ダンスの魅力



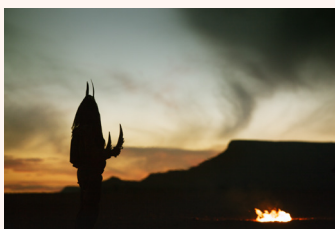
DANTZA

バスク・ダンス万華鏡



TUFS Cinemaとは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的として行われています。このバスク映画特集では、3週連続で計3本の映画が上映されます。特集のサブタイトルは「リズム・インプロヴィゼーション・ダンスの魅力」となっていますが、この作品からは、とくにダンス（舞踊、舞踏）の魅力が見て取れることでしよう。



上映日時 2023年

12月15日【金】

18:15上映開始（開場18:00、終了予定20:45）

場所 東京外国語大学

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
（東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩5分）

プログラム

映画『バスク・ダンス万華鏡』本編上映

上映後トーク：テルモ・エスナル（監督）
通訳／解説：ガリ・オルティゴース（東京外国語大学非常勤講師）
モデレーター／解説：萩尾生（東京外国語大学教授）

主催 東京外国語大学 TUFS Cinema

後援 エチェパレ・バスク・インスティテュート
協力 東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録制 ▶▶▶
（先着500名）



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc231215form/>
※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、会場入口で参加登録をさせていただきますので、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

【お問合せ】
東京外国語大学 広報・社会連携課
（TUFS Cinema担当）

TEL 042-330-5441
（平日9:00-17:00）

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



150th anniversary TUFS 東京外国語大学
建学150周年
記念事業

上映日

2023年12月15日(金) 18:15 上映開始 (開場18:00、終了予定20:45)

バスク映画特集 (3) リズム・インプロヴィゼーション・ダンスの魅力

バスク・ダンス万華鏡

監督/脚本 テルモ・エスナル
 製作構想 コルドビカ・ハウレギ
 振付 ファン・アントニオ・ウルベルツ
 撮影 ハビエル・アギレ・エラウン
 音楽 パスカル・ゲーニュー ミケル・ウルベルツ マリアン・アレギ
 製作 マリアン・フェルナンデス・パスカル
 出演者 ガリ・オタメンディ(首長)
 アナ・イリゴイエン(女王)
 アイナラ・ラネラ(恋人[女性])
 ヨセバ・アスタルベ(恋人[男性])
 ヨス・ガラテ(アマテラス)

雨がやむと、それまで不毛だった土地に生命が芽生える。若芽は病やさまざまな苦難を乗り越えて成長し、やがて林檎の果実を結ぶ。熟した果実は収穫されて林檎酒となり、めでたく乾杯の時を迎える。生命の循環、季節の移ろい、収穫の喜び、愛の祝宴など、普遍的なテーマを取り上げながら、バスクの伝統舞踊にモダン・バレエや前衛的舞踏の振り付けを織り交ぜ、バスク独自の世界観を象徴的に、かつまた詩的情緒豊かに表現した、ことばのないミュージカルである。

2018年/スペイン/98分/(バスク語)/(台詞なし)/原題:Dantza
 受賞歴:サン・セバスティアン国際映画祭Global in Progress 部門受賞(2017年)



本作について

バスク人のことを「ピレネーの麓で踊る小さき民」と形容したのは、かのヴォルテールである。実際、バスク人と踊りは切っても切れない関係にある。

本作は、バスク農村社会の民俗誌的要素を書き割りのごとく配置し、「剣の舞い」や「手つなぎダンス」など伝統舞踊をクローズアップする場面を数多演出する。庄巻は、林檎の収穫から林檎酒の祝杯へと繰り広げられていく一連の踊りだ。足先を敏捷に動かしながら舞い、あるいはつま先を天に向けて蹴り上げ、あるいは軽妙に高く跳ね上がるバスク人の踊りは、バレエに「バスク・ステップ(パ・ドゥ・バスク)」や「バスク跳躍(ソ・ドゥ・バスク)」という用語があるように、難易度の高い優美な技として称賛されてきたのである。

本作に台詞はない。だが、ことばがなくても、バスク人の独自の世界観とテーマの普遍性を、私たちは十二分に堪能できるだろう。(萩尾 生)

バスクのことを学んでみよう! ~書籍紹介~



『現代バスクを知るための60章』
 【第2版】
 萩尾 生・吉田浩美(編著)
 明石書店(2023年6月刊行) 本体2,000+税

内容の紹介
 スペインとフランスにまたがるバスク地方。独特の言語や文化が注目されてきましたが、スペイン・フランスからの分離独立を求めた武装組織の解散(2018年)後は、飲食(ガストロノミー)、観光、文化・芸術、研究開発イノベーションなど多方面でのグローバルな存在感を急速に高めています。2012年の初版以後の重要事象を新たに書き下ろし、情報更新を図った改訂増補版です。

上映後トーク

テルモ・エスナル(監督)
 通訳/解説:ガリ・オルティゴサ(東京外国語大学非常勤講師)
 モデレーター/解説:萩尾 生(東京外国語大学教授)

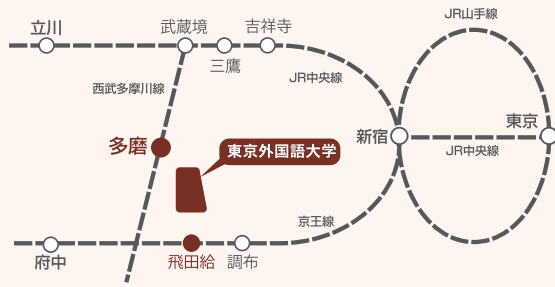
会場
 東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
 (東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ
 東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)
 TEL 042-330-5441(平日9:00~17:00)
 Email tufscinema@tufs.ac.jp
 Facebook: @tufscinema
 X(Twitter): @tufscinema

入場無料/事前登録制(先着500名)
<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc231215form/>



交通アクセス



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車